

11月16日(土曜日)

事前予約制

参加費無料

中学生以上対象

視覚を超えたアート共同鑑賞ワークショップ

※参加費無料ですが珈琲店で飲食した場合のみ実費が掛かります

ギャラリーコンパ@鳥取民藝美術館2024



「ギャラリーコンパ」とは 美術館に視覚障がい者と晴眼者が共に赴き、主に対話と触覚を通して視覚芸術とも呼ばれるアート作品と一緒に味わう鑑賞ワークショップである。2005年九州で石田陽介・濱田庄司・松尾さちによって始動し、年3、4回程度のペースで開催を続けています。これまでに20年に渡って80回以上開催し、延べ数百人以上の視覚障がいを持つ方々を美術館へと誘いながら、晴眼者との対話や触感による「視覚を超えたアート共同鑑賞活動」を促し、アートを介した社会包摂(ソーシャル・インクルージョン)を支援してきました。

目の見える・見えない・見えにくい、という互いの個性を活かしあって行うアート共同鑑賞ワークショップ「ギャラリーコンパ」を開催します。今回は、鳥取民藝美術館および「民藝のプロデューサー」である吉田璋也が開いた旧吉田医院において共に鑑賞した後、たくみ珈琲店において「用即美」を意識した、暮らしの中に溶け込む民藝の椅子に腰掛けてワイワイガヤガヤと語り合います。視覚を超えたアート共同鑑賞を、ぜひ一緒に体感しませんか？

時 間 17:30~19:30 (17:15に鳥取民藝美術館前に集合)

会 場 鳥取民藝美術館／旧吉田医院／たくみ珈琲店

定 員 12名(視覚障がい者3名、晴眼者9名)

内 容 美術館に視覚障がい者と晴眼者が共に赴き、対話や触覚を通してアート作品と一緒に味わう鑑賞ワークショップです。

ファシリテーター 松尾さち・濱田庄司・石田陽介(ギャラリーコンパ主催スタッフ)

美術館ナビゲーター 木谷清人((公財)鳥取民藝美術館 常務理事)・東方あかね((公財)鳥取民藝美術館 学芸員)

アテンド 鳥取大学アートプロジェクト 大学生メンバー

申込〆切日 10月18日

申 込 先

鳥取大学 地域価値創造研究教育機構(担当:石田)
E-mail:is@tottori-u.ac.jp (TEL:090-5931-7441)①名前 ②年齢 ③障がいの有無 ④電話番号およびメールアドレス
以上を記入の上、メールにて申し込み。

「鳥取大学 アートプロジェクト」について

鳥取大学地域価値創造研究教育機構の地域創生教育推進室では、地域社会で活躍できる知識・技術を身につけた人材を養成するため、「地域創生推進プログラム」を開講しており、本演習授業「アートプロジェクト」(担当教員:石田陽介)は、その一つに位置します。実現化したい鳥取のビジョンを思い描き、地域に暮らす様々な方々と協働したコミュニティアートの実践活動をもって、社会包摂の推進に挑む本ワークショップ企画「ギャラリーコンパ」は、鳥取大学「アートプロジェクト」受講生によって運営されています。私たち「アートプロジェクト」は、「アートと医療の汽水域をまちにひらく」ことをミッションに掲げ、WEBサイト「トトリハアート」を立ち上げました。ここへ訪れる人・携わる人のウェルビーイング(健康で幸福)な未来をデザインすることを目指しています。

WEBサイト「トトリハアート」
<https://tottori-he.art/>プログラムⅠ
ワークショップ鳥取民藝美術館
(鳥取県鳥取市栄町651)

旧吉田医院(鳥取民藝美術館向かい)

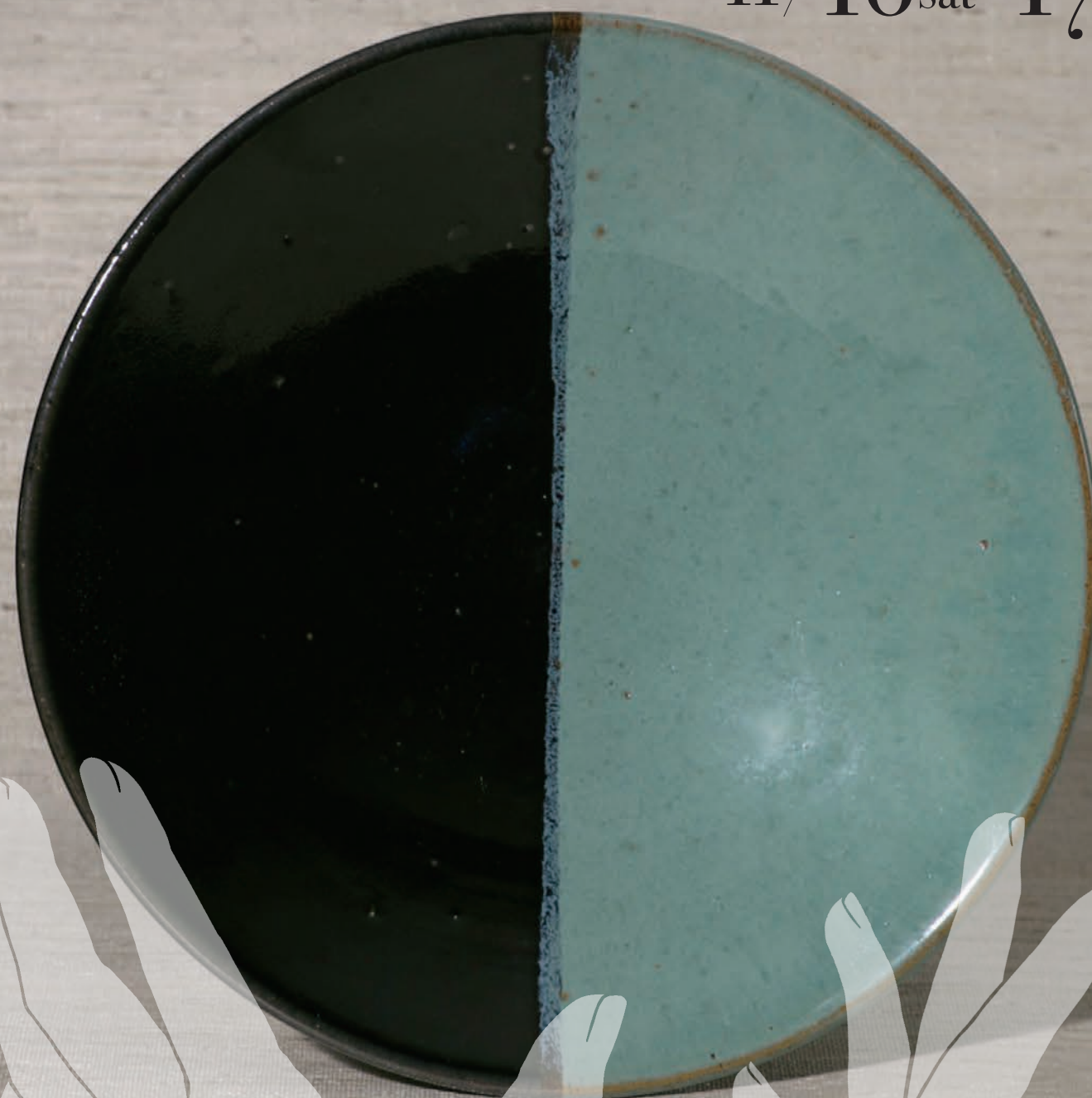
たくみ珈琲店
(鳥取県鳥取市栄町606 まるもビル1F)プログラムⅡ
フォーラム鳥取市役所 本庁舎2階 鳥取市民交流センター
麒麟スクエア多目的室1
(鳥取県鳥取市幸町71)

会場MAP



汽水域アートシェアリング2024

11/16sat - 17sun



鳥取大学

地域価値創造研究教育機構
Platform for Community-based Research and Education主催:鳥取大学 地域価値創造研究教育機構 共催:公益財団法人 鳥取民藝美術館 協力:鳥取民藝協会/あいサポート・アートセンター/たくみ珈琲店
企画連携:フクシメアートWEEK実行委員会 企画運営:鳥取大学アートプロジェクト 石田陽介/野口明生

プレイヤー表紙デザインに掲載した作品:〔牛ノ戸焼分皿(写真提供:鳥取民藝美術館)〕、〔森下かくる作〔手慰みNo.105、No.114〕〕